



セマンティックWebコンファレンス 2003 デモンストレーション展示

2003年11月17日

株式会社シナジー・インキュベート

内藤 求

motom@synergy.co.jp

<http://web.synergy.co.jp/>

<http://tm1.synergy.co.jp/>

展示内容の概要

セマンティックWeb委員会 KM (Knowledge Management) 応用グループでの活動成果を展示

1. 知識の登録手続き
2. 蓄積された知識を容易に利用できる機構

前提

*ナレッジとは

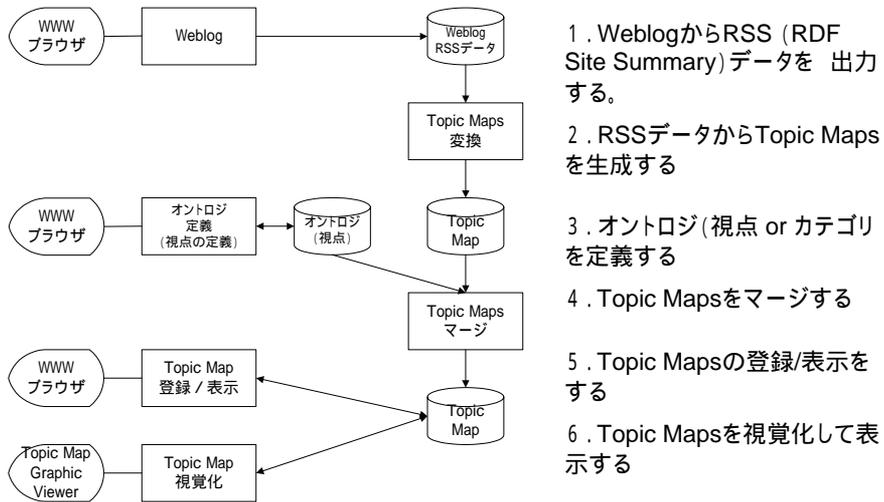
属人的、個別に蓄えられている知識(暗黙知)が、他の人間に利用可能な知識(形式知)となったものをナレッジと呼ぶ。

*ナレッジマネジメントとは

属人的知識を、パブリックな共有知識に整えること。

- ・ 個人の知識を、共有空間に登録できる手続き
Weblog等を利用した機構
- ・ 蓄積された知識を容易に利用できる機構
ナビゲーション機能

知識登録、利用のための処理の流れ



RDF: Resource Description Framework

3

知識の登録手続き

1. 手続き組み込み型 (自動トレース型)

- ・ 一定の業務手続を遂行する過程を捉え、その手続きをトレースすることにより知識として表出させる。
- ・ 今回は、Weblog等に投稿された情報から、メタデータを抽出、変換するシステム機構により、Topic Mapsとして表出する。

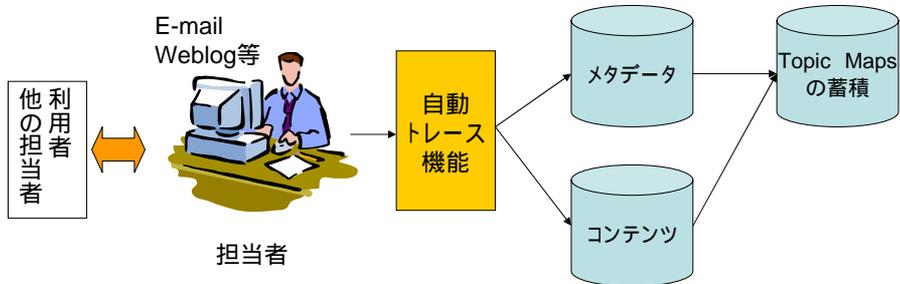
2. シナジー型 (投稿型)

- ・ 個々の関係者が自発的に、自らの持つ知識を、一定の機構を利用し投稿 (ポスト) する。
- ・ ここにもWeblogは利用できる可能性がある。

4

手続き組み込み型(自動トレース型)

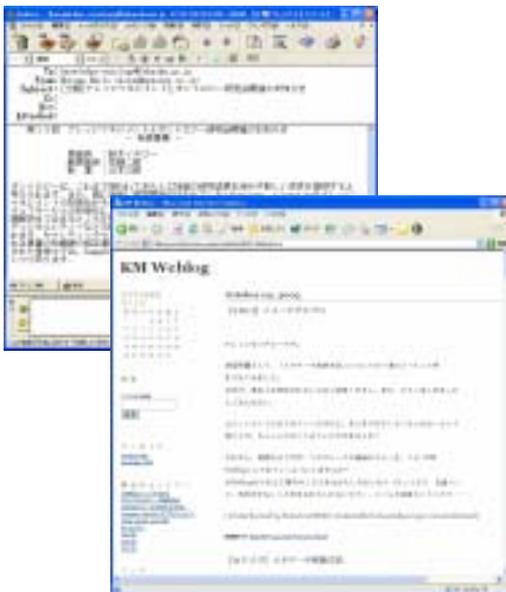
一定の業務手続を遂行する過程を捉え、その手続きをトレースすることにより、半ば自動的に知識として表出させる方式



一連の業務手続を実行するプロセスを、自動的にトレースして、蓄えていく自動トレース機能を用意する。
E-mail、Weblog等のデータを、メタデータとコンテンツに分け、Topic Mapsを生成、蓄積する。

5

手続き組み込み型(自動トレース型)の機構



KMへの登録について
特定の手続きを意識することなく、システムを操作する過程が自動的にトレースされ、知識として表現される。

必要なシステム機構

*** 業務システムとのインターフェースを持つ、登録機構**

例: E-mail、WeblogなどのデータからTopic Mapsを生成する。

6

蓄積された知識を容易に利用できる機構

1. カテゴリ(オントロジ)と主題の位置付け

- トピックマップのマージ機能を利用して
該当するカテゴリに投稿記事の主題を位置付ける

2. 一般のWEB機構で表示

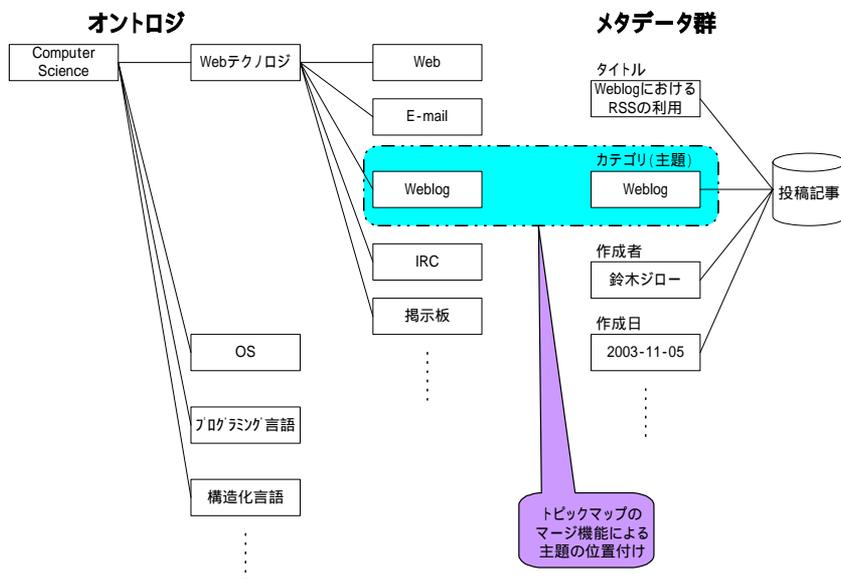
- Topic Mapsとして表出されたデータを、Webブラウザ上でナビゲート可能にする。

3. Graphic Viewerで視覚化して表示

- Topic Mapsとして表出されたデータを、Graphic Viewerでナビゲート可能にする。

7

カテゴリ(オントロジ)と主題の位置付け



8

蓄積された知識を容易に利用できる機構 ナビゲーション機能

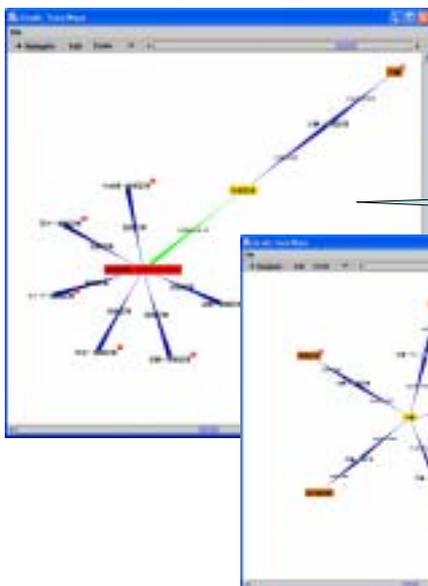


Topic Mapsで記述された知識を、一般のWEB機構で表示する

この例では、カテゴリに沿って投稿記事がナビゲート可能になっている。

9

ナビゲーション(視覚化例)



視覚化されたトピックマップ
に沿ってナビゲート可能

投稿記事に視点をあてた
場合の表示

文書に視点をあてた
場合の表示

10